

球大会
老童大

東陽
クラブ
歓喜の優勝

9月18日から開幕した第21回老童野球大会は、10月11日準決勝、決勝が行われ東陽クラブチームが優勝、木戸チームが準優勝という結果で終了しました。

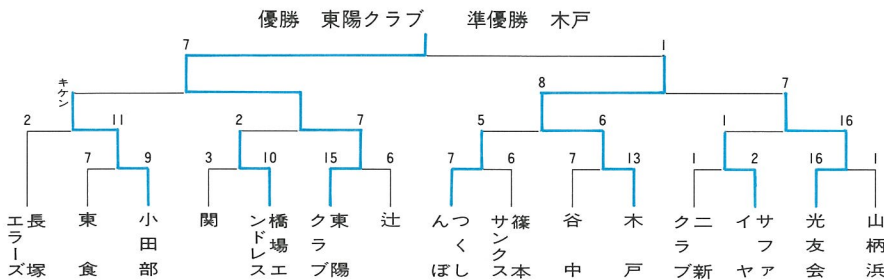
今大会は、2回戦まで初めてナイターを使って行われ、「終ってからの懇親が白球を追っていました。」



優勝した東陽クラブ

個人賞

右から、打撃賞・椎名淳さん(木戸) 最優秀選手賞・椎名幹生さん(東陽クラブ) 敢闘賞・小倉千万入さん(木戸)



ペトラさん、書道教室で学ぶ



「素晴らしい字」と先生の評もなかなか

4月から台の山崎文武さん宅に、日本の稲作の勉強にドイツから来ているペトラ・サツクスさん。日本の文化に興味をもち光町に来たその日に町民会館の書道教室に申込み、月2回の教室に通っています。書道は、精神力の鍛練に良いと正座して一生懸命に筆を走らせていました。

通信員 桜田定枝(橋場)

亀の子誕生



東陽小学校の4年1組の教室で、亀の子が生まれました。この卵は、入の大本勝己さんが飼っていた亀が生んだもので、教材として6月に寄贈したものです。砂にうずめ、湿りを与えたりして待つていた所、10日位して次々に7匹の子亀が生まれ、みんな大喜びで、糸みみず等を用意してかわいがっています。

通信員 川島 和(入)

子亀の誕生に大喜び



早朝からゴミ袋を一杯に



声か掛けられれば何時も参加します。

シーズンが終わって人影もなくなつた木戸浜海岸を、9月19日に「九十九里を守るう会」のみなさんが清掃活動をしました。会員の関貞子さん(芝崎)はお友達の金杉悦子さん【写真右】を誘い合わせ早朝から何度も「ゴミ袋を一杯にしました。」

通信員 山邊光男(木戸)

お盆に花開き、息子が帰ったよう



夕顔を育て2年目の篠本二区の大木けいさんは、今年はお趣向をかえ、アーチ型に竹を回し添え木を作りました。この夕顔がお盆の13日に咲き始め「亡くなった息子が帰って来たよ」で涙が出ました。と。花は多い時で1日60個、今迄に数百の花が咲き、3ヶ月も咲いています。

通信員 越川貞子(篠本二区)

民謡コンクールで入賞

白浜町の南国ホテルで、「第2回白浜音頭全国大会」が開かれ、小川台の鈴木志んさんが高年の部で見事に準優勝に輝きました。

この大会は、9月25・26日の両日、300人が参加して一般・高年・少年の部で行われたものです。

「落ちついてできたのが良い成績に結びついたのは」と鈴木さん。

通信員 鈴木康子(小川台)

▼周辺の大会ではいつも入賞

